

口絵



写真1 東方向から撮ったヤシン・テペの全景. 手前に発掘区 A が見える.

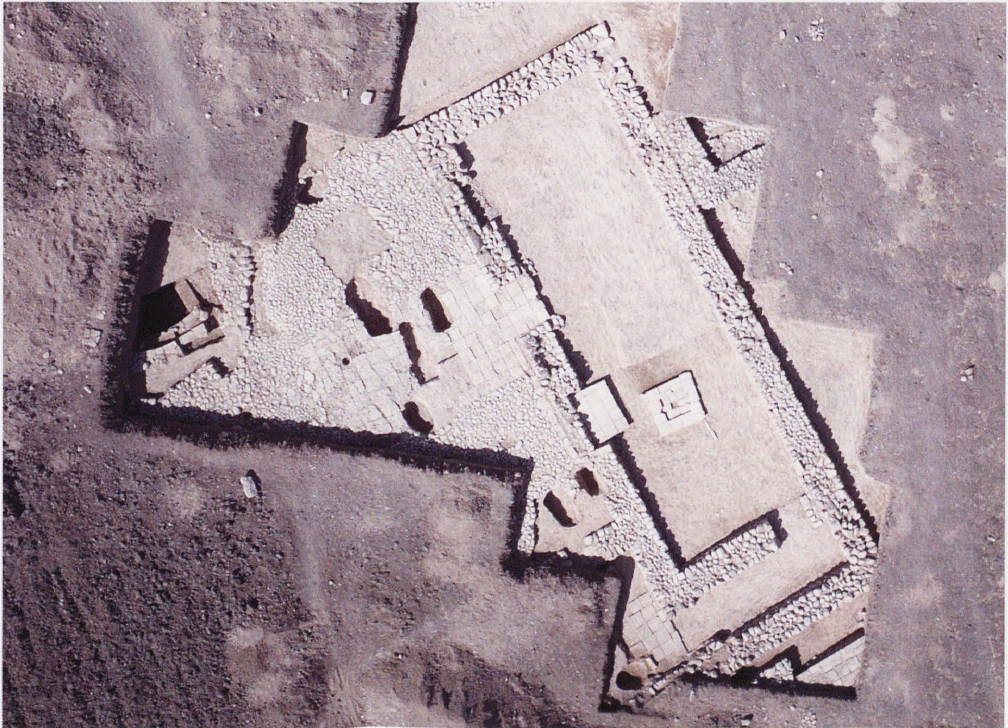


写真2 ヤシン・テペの新アッシリア時代の公共施設.

## ヤシン・テペの新アッシリア時代の公共施設

ヤシン・テペは、イラク・クルディスタン地域政府スレマニ県シャヒリゾール盆地にある面積 55 ha の巨大なテルである（写真 1）。2016 年夏から、筑波大学や国士舘大学、中部大学などの研究者によって構成される日本の調査団が、この地に鉄器時代に存在したと想定される小王国アト・リーラと、そのアト・リーラを征服したアッシリア帝国の拠点都市ドゥール・アッシュールの発見を目指して、発掘調査を開始した。写真 2 の遺構は発掘初年度に発見された新アッシリア時代の紀元前 8 世紀ごろと想定される公共施設群の一部で、長さ 14 m、幅 6 m の方形の建物は同時代の典型的なレセプション・スイート（接見室）と考えられる。この地にアッシリア帝国の官衙が存在した可能性を示す。

常木 晃